

第九の里コンサート



平成25年8月4日（日）、鳴門市ドイツ館にて、第2回「第九の里コンサート」が開催されました。
大正時代、板東俘虜収容所に収容されていたドイツ兵俘虜と、板東の町の人々との間には、心温まる交流がありました。そして、1918年6月1日に、板東俘虜収容所内で、ドイツ兵俘虜によって、ベートーヴェンの「第九」交響曲が、アジアで初めて演奏されました。
今回のコンサートは、“この史実を「私たちの誇り」と思い「おもてなしの心」を子どもたちに受け継いでいきたい”という地元の方々の思いから、昨年を引き続き、開催されました。

1. 開会の挨拶
(板東地区自治振興会文化部長 丸平氏)



2. 鳴門市長挨拶



3. コンサートのオープニングは、会場全員で「歓喜の歌」を大合唱しました



4. 板東ゆたか保育園児・板東みやま保育園児による合唱



5. 堀江北小学校4年生によるリコーダーメドレー



6. 鳴門市大正琴研究会堀江教室の皆さんによる演奏



7. ドイツ村友の会による合唱



8. オカリナグループ たんぽぽによる
オカリナ演奏



9. 鳴門市大麻中学校音楽部による合唱



10. ドイツ館国際交流員のロバート・テルシック
さんによるドイツの遊びのお話



11. 『ヤー・トモタチ』うた物語実行委員会
による合唱（音楽劇）



12. 合唱団アンダンテによる合唱



13. 鳴門市板東小学校「Smily」による合唱



14. NPO鳴門第九を歌う会合唱団
「コーラス9（サイン）」による合唱



15. 阿波ベンチャーズによるバンド演奏

